

今週の見頃写真

11月11日編集

有峰も11月中旬となり、紅葉していたブナやミズナラなどの広葉樹の大半が落葉し、有峰ビジターセンターより一望できる猪根山も、樹々の間から山肌が見え始めています。黄葉したカラマツも落葉しはじめています。北電有峰記念館や文化活動の拠点・宿泊施設有峰ハウスも閉鎖期間の厳冬期に備え、雪囲いを終了しています。

11月に入り、有峰の天候、西高東低の冬型の気圧配置になると天気が急変します。11月9日夕方から降り始めた雨が、夜半雪に変わり、11月10日未明より積雪しました。千変万化の有峰を紹介します。



有峰湖展望園地より有峰湖と宝来島を眺望
(11/10撮影)



小見線より有峰湖と宝来島を眺望 (11/10撮影)



小見線より有峰ダムを眺望 (11/10撮影)



有峰湖展望台より有峰ダムを眺望 (11/10撮影)



落葉し山肌が透かして見える猪根山 (11/12撮影)



落葉したブナの木肌が際立つ樹木園 (11/12撮影)



有峰湖展望台より宝来島を眺望（11/10 撮影）



雪囲いを終了した有峰ハウス（11/12 撮影）



雪囲いを終了した北電有峰記念館（11/12 撮影）



ビジターセンターより落葉の猪根山を眺望（11/9 撮影）



折立線よりビジターセンターと猪根山を展望（11/10 撮影）



旧有峰ハウス前より薬師岳を眺望（11/10 撮影）

○動物

○有峰におけるニホンザルの現状

11月3日の猪根平自由広場への出現以降、11月4日の降雪・積雪、11月9日夜半からの降雪・積雪により自由広場への出現が途絶えていたニホンザル、11月11日午前11時過ぎ、鳴き声と共に、猪根山から再来しました。ビジターセンター前の草地の融雪した場所で、シロツメクサやアカツメクサの茎や葉などを、折立線の路上ではミズナラから落下したドングリを捕食していました。自由広場周辺での滞在時間は50分程度でした。リーダーと思われる雄ザルは、移動しながら、シロツメクサの他ツルウメモドキの実も捕食していました。有峰はツキノワグマ同様、ニホンザルの恒常的生息域と考えていますが、有峰の厳冬期におけるニホンザルの生態や行動に関する記録はほとんどありません。白山の自然誌31「新編ニホンザルの四季」2011年3月石川県白山自然保護センターでは、雪深い北陸の冬の生態について、冬は雪の上に出ている木の枝から樹皮や冬芽を採って食べることが報告されています。今後も有峰

におけるニホンザルの行動・生態に注視していきたいと考えています。



自由広場でシロツメクサ捕食中のニホンザル



自由広場でシロツメクサ捕食中のニホンザル



自由広場でシロツメクサ捕食中のニホンザル



ツルウメモドキの実を捕食中のニホンザル



折立線の路上でドングリ捕食中のニホンザル



ニホンザルが捕食していたドングリ



折立線を闊歩するニホンザルの親子

○鳥類編

○ツグミ（ヒタキ科）

11月に入り冬鳥のツグミが数十羽の群れで、連日、早朝より有峰森林文化村領域内の自由広場に飛来し、昆虫類や落下した木の実などを啄んでいます。また、木に付いているナナカマド（バラ科）の赤い実やイヌツゲ（モチノキ科）の黒い果実も捕食しています。翼を下げ、胸を反らせて地面に立つ雄姿は圧巻です。地上を数歩歩いて立ち止まる行動が特徴的です。



自由広場に飛来したツグミ成鳥 (11/8 撮影)



自由広場に飛来したツグミ成鳥 (11/8 撮影)

飛来しイヌツゲの実を捕食中のツグミ成鳥
(猪根平にて 11/9 撮影)



イヌツゲの果実捕食中のツグミ成鳥 (11/9 撮影)



飛来したツグミ成鳥が捕食していたイヌツゲの果実

(猪根平にて 11/9 撮影)



シラカバの小枝で静止中のツグミ成鳥 (11/10 撮影)

○植物編

○カラマツ (マツ科カラマツ属の落葉針葉樹)

有峰にも生育していますが、植林されたものです。有峰では、最近ツキノワグマによる樹皮はぎの被害を受けている樹種で問題となっています。

今秋、ツキノワグマの樹皮はぎの被害を受け、立ち枯れしたカラマツの伐採が行われました (有峰ビジターセンター便り 10月28日編集に掲載済み)。



黄葉したカラマツの近影 (11/9 自由広場にて撮影)



黄葉したカラマツの近影 (11/9 自由広場にて撮影)



降雪したカラマツの近影 (11/10 自由広場にて撮影)



道路に黄金のジュータンのように降り積もったカラマツの落葉 (11/9 せせらぎ広場より撮影)



落葉しはじめたカラマツ (11/12 自由広場より撮影)

○ツルウメモドキ (ニシキギ科)

有峰でも明るい林縁に生えています。

10月下旬より黄赤色の仮種皮に包まれた種子が現れ見頃を迎えています。生け花にも用いられます。



ツルウメモドキ越しに有峰ハウス・猪根山を眺望 (11/8 撮影)

○ナメコ (モエギタケ科スギタケ属) 食

晩秋の有峰を代表する食用のキノコで、主に10月下旬から11月上旬、ブナの枯幹、倒木、切り株に生えていることが多く、キノコ狩りをする人達に人気のキノコです。



ブナの切り株に生えたナメコ (11/8 撮影)